自己点検機能付誘導灯について

3. Q&A

Q. 自己点検とはどのような機能ですか？
A. 従来器具では点検スイッチを押したままで定格時間非常点灯することを確認しなくてはいけませんでしたが、自己点検機能付きの器具では点検開始時に自己点検の開始動作をすることにより、定格時間非常点灯後に誘導灯自身が判定し、器具のモニターに状態を表示する機能です。

Q. 誘導灯の自己点検機能を使用することによって法定点検が免除されますか？
A. 法定点検は免除されません。自己点検機能を使用することによって定格時間、非常点灯するかを確認することができますが、種類・外形・表示など、その他の点検項目については別途点検が必要です。

Q. 活性型の誘導灯にも自己点検機能はついていますか？
A. 自己点検機能ではキセノン、音声用の蓄電池容量を確認する機能は有していません。蓄電池の寿命は蛍光灯用、キセノン・音声用も変わりありませんので蛍光灯用の蓄電池と同時に交換することをおすすめします。

Q. 自己点検動作を途中で停止してしまいました。数分間は点検動作させていましたが、途中から点検を行うことは可能ですか？
A. 自己点検動作の再開はできません。蓄電池が放電しており正確な確認ができませんので、24時間充電後、再度自己点検動作を開始させてください。(24時間充電するまで自己点検は開始できません)

Q. 信号装置・中継盤と組み合わせて消灯させていますが、ランプモニターが点灯しません。器具異常ですか？
A. 正常動作です。信号装置・中継盤と組み合わせて消灯させた場合はランプモニターは点灯しません。

Q. 点検終了後、赤(または緑)のLEDが点滅(または点灯)しています。どのように対処すればいいですか？
A. 下表のモニターランプ表示内容を確認してください。

Q. 5秒以上モニターランプが同期点滅している、又は点検スイッチを押しても同期点滅が継続されている。
A. ランプと電池がそれぞれ寿命を向かえている可能性があります。ランプと電池を交換してください。

Q. 自己点検が始まりません。
A. 自己点検開始の条件を満たしていますか？下図に従って確認してください。

○自己点検終了後のモニターランプ表示内容

	モニターランプ点灯状態	考えられる原因	対処方法
ランプモニター(赤)	点灯	ランプが破損している	ランプを交換してランプ交換スイッチを2秒以上押してください。
		ランプコネクタがはずれている	コネクタを接続して点検スイッチを押してください。
	点滅	ランプ寿命	ランプを交換してランプ交換スイッチを2秒以上押してください。
充電モニター(緑)	点滅	蓄電池の寿命	新しい蓄電池と交換してください。
点検モニター(橙)	点滅	停電等による点検の中断	点検スイッチを押して点滅を消して、24時間以上再度充電してもう一度点検をやり直してください。